

新宮山彦ぐるーぷ第2095回

行仙宿に雨戸取付用資材（角材10本など）を荷揚げ

◇実施日：2020年9月13日（日） 小雨のち曇

◇参加者：沖崎吉信、濱野兼吉、山川治雄、岩本信行、梶野照雄

志岐敬

6名

行仙宿小屋の雨戸設置工事に関して、木下棟梁、脇浜サツシ店と打合せを重ね、9月9日によく工事日程が決まった。9月18日（金）、19日（土）の一泊二日として翌週の金、土曜日を予備日とした。



下北山村役場に到着



登山口を出発



角材を運ぶ

木下棟梁から雨戸の取付枠となる角材10本と、工具類の事前荷揚げの話があり、急遽声をかけて6人が集まった。

朝6時過ぎに目が覚めると雨が降っている。それも雷を伴い一時間に100ミリと迄は行かないが60〜70ミリくらいの豪雨である。新宮イコール大峰とは言えないがこの状態が同じならとても荷揚げどころではない。既に堺を出発しているであろう梶野君に電話を入れると、大淀町まで来たが雨は降っていない、とのことだった。登山口9時集合を役場駐車場に9時と変更して様子を見ることにした。濱野、山川の両氏にもその旨を連絡した。



丸太の積み替えと整理

水場の清掃

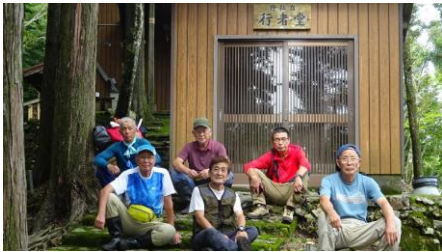
7時半過ぎ、まだ雨は降っていたが家を出る。本宮方向に10分も進むと雨は降っていない。一安心だ。下北山村に入ったが、雲の隙間から少し青空も見えるようになって、大丈夫のようだ。

役場駐車場で簡単に打ち合わせを済ませ登山口に向かう。途中のR

425にも異常は無い。

登山口に到着後、角材10本と工具やザックをモノレールに積み梶野君運転で登りだす。他の5名は歩いてモノレール終点へ。モノレール終点で各自、角材を2本ずつ、工具は沖崎が背負子につけて運ぶが、5束積んだはずの角材が3束しかない。途中でずり落ちたようだ。再びモノレールで下って回収した。積み荷が落ちないよう固定しなくてはならない。

10時半に行仙宿到着、角材と工具類は管理棟に保管した。



積みかえた薪材

本日の参加者

下山

今日はこれ以外の作業メニューは考えてこなかったが、以前から気になっていた佐田ノ辻に積み上げた薪について、せっかく伐採地から運び上げたのに今の保管状況では腐らせてしまうので、この際整理して、雨除けにブルーシートを被せる作業を行った。昼食後は4人が水場の確認に向かった。水場はよく流れていて落石も殆ど無かったようだ。

薪を移動してシートを被せてスッキリしたら、少し南に置いてある丸太が目障りになり、場所を移して積み上げ整理した。

18日、19日の工事予定は雨予報のために延期とした。予備日の25日も雨の予報で、週末ごとの天候悪化が続き早く終わらせたいと落ち着かない毎日だ。

(記；沖崎、写真；梶野、志岐)

行動タイム

下北山村役場 09：00→09：33 登山口 09：41→10：30 行仙宿 14：25→14：55 登山口